



特定非営利活動法人

神戸日独協会会報

BERICHTE DER NPO JAPANISCH-DEUTSCHEN GESELLSCHAFT KOBE

Nr. 398

September 2024

NPO法人 神戸日独協会

〒651-0085 兵庫県神戸市中央区八幡通2-1-20 磯上公園内

神戸リガッタ・アンド・アスレティック倶楽部内

TEL/FAX 078-230-8150

郵便振替 01160-9-18199

E-mail: info@jdg-kobe.org URL <http://www.jdg-kobe.org/>

NPO JAPANISCH-DEUTSCHE
GESELLSCHAFT KOBE

Bei Kobe Regatta & Athletic Club

In Isogami-Park Yahata-Dori 2-1-20

Chuo-ku Kobe, Japan 〒651-0085

ドイツ語講座・ドイツ文化教室2024年度第Ⅲ期開講

10月1日(火)よりドイツ語講座・ドイツ文化教室の2024年度第Ⅲ期が開講します。

ドイツへの旅行をはじめドイツとの人的交流はコロナ禍以前に復活しています。ドイツ語圏への旅行・留学を計画されている方、ドイツ語圏からの来訪者と交流しようとしている方、自宅待機で身に付いたドイツ語文を読む楽しみをさらに充実させようとしている方、ドイツ語を学び、ブラッシュアップをして、ドイツとの交流を楽しみましょう。

ドイツ語講座の各種クラスは、ヨーロッパで通用する「EU言語標準」としてのドイツ語の習得を目的としています。「EU言語標準」としてのドイツ語の教授経験が豊富な講師陣が講座を通じて「今のドイツ」へとお誘いします。「ドイツをはじめとするヨーロッパで今何が起きているのか」、「今の日本をドイツはどのように見ているのか」を知りたい方、ドイツ文学の名作をじっくりと読んでみたい方には「講読クラス」がお勧めです。

第Ⅲ期の開講授業の詳細については、同封のパンフレットをご覧ください。

ドイツ語講座は前期からの継続クラスもありますが、途中からの受講は可能ですので、奮ってご参加ください。

クリスマス祝賀会2024の予告

本年の「クリスマス祝賀会」の日程が決まりました。

日時：2024年12月15日(日)17:00～

会場：神戸リガッタ・アンド・アスレティック倶楽部ホール

祝賀会の前のミニコンサート及び祝賀会の内容については現在企画中です。企画についてご提案やご希望がありましたらお寄せください。具体案が決まり次第、ホームページや会報にてお知らせしますが、日程を是非ともご予約にお入れください。

行事報告

ハンブルク市親善大使 ハンブルク桜の女王を歓迎して

会員 井川 伸子

9月20日(金)19時から神戸日独協会会員が集まる場所としてお馴染みの Stammrestaurant “ロイン三宮” で、第4代ハンブルク桜の女王に輝いたアレグラ＝スカーレット・テルナー Allegra-Scarlett Turner さんの歓迎会が行われました。テルナーさんは、ハンブルク独日協会の橋丸榮子会長と共にいくつかの日本の主要都市の日独協会を回りながらドイツと日本との更なる交流を深めるためにハンブルク市独日親善大使として来日され、9月18日の東京での日本さくらの会の式典の後、神戸に来られました。ハンブルク桜の女王歓迎会は、過去3回(2014, 2016, 2018年)行われましたが、その後コロナ禍で暫く中断し、今回再び再開される運びとなりました。神戸日独協会柘田会長の歓迎の挨拶、ハンブルク独日協会橋丸会長の挨拶、神戸市会日独友好議連植中雅子会長からの温かい歓迎のお言葉、そしてテルナーさんの日本語での自己紹介が終わると、割れんばかりの大きな声で、みんなで “Prosit” を歌い、グラスを合わせて乾杯！！

乾杯のあとは、次から次とテーブルに繰り広げられる美味しい食事に舌鼓を打ちながら楽しく歓談しました。私と同席された神戸市議員のかたは、ハンブルクと神戸は港町として共通点が多いので、ハンブルクから流通、経済の面で良い所を見習って神戸を発展させたいというビジョンに燃えて話されていました。5年後には神戸空港が国際空港になるそうで、主にアジアに向けて航路が開かれるそうです。

参加者もいろいろな方とお話ができるように席を自由に移動され、あっちのテーブル、こっこのテーブルと話に花が咲き、時が経つのも忘れるほどでした。

私が今、高校でドイツ語を教えている音楽科のクラスの高校生が毎年11月に演奏研修旅行でハンブルクへ行くので、その話を橋丸会長に帰り際に話したら、「もちろん、その研修先の Hamburger Konservatorium と、その音楽院で指揮をして下さっている校長も知っていますよ。毎年生徒さんが来ていますよね。」とご存知でしたので、目に見えない糸で繋がっていたのだなあとあらためて嬉しい気持ちに浸りました。テルナーさんもその生徒のコンサートをぜひ聞きに行きたいと言って下さり、この桜の女王歓迎会に参加して、いろいろな人と交流をはかることができ、また、参考になる情報も習得でき、とても有意義な歓迎会でした。この会にあたり、柘田会長をはじめ、準備して下さい下さった方々、美味しい食事をいつも提供して下さい下さっているシェフ宮田さんに心から感謝申し上げますと共に、この Stammrestaurant での会員の交流がますます栄えますように！

会員の広場

このコーナーは、会報を通して会員相互の交流をしていただくための「広場」です。投稿をお待ちしています。

(投稿規定: MSPゴシック12ポ、A4 1枚程度まで (多くの方に投稿していただくために、字数を厳守してください)、添付にて毎月第4月曜までに事務局へ)

イエナ便り — 9月の州議会選挙 —

会員 竹中ららら（イエナ在住）

前回に引き続きドイツの選挙について取り上げます。Thüringen州と Sachsen州では9月1日に州議会が実施されました。5月の地方選挙(Kommunalwahl)と6月の欧州選挙(Europawahl)の際と同様に、町には様々な政党のポスターやスタンドが見られ、選挙前の盛り上がりを感じられました。チラシ配りでは、アジア系の見た目をしている私も声をかけられることがありました(ドイツ国籍でない人は選挙権がなく、一見してこの人に選挙権があるかどうか分からないため、このようなケースは残念ながら少ない)。選挙直前の週末には、立候補者が町の様々な地域で演説したり住民と対話をする場面が見られました。特に印象的だったのは、Die Linke(左派党)の立候補者が移民の背景を持つ人が多く居住するイエナの Lobeda地域(旧東ドイツ地域に典型的な鉄筋コンクリートプレハブ住宅である Plattenbau が立ち並ぶ)でベンチと並べて住民に訴えかけていた場面でした。この地域は外国にルーツを持つ人のみならず、低所得者が比較的多い場所で、5月の市長選挙と市議会選挙では極右政党 AfD(ドイツのための選択肢)が最も票を獲得しました。Die Linkeとしてはこのような有権者層が AfD、また左派党から分離した急進左派政党 BSW(Bündnis Sahra Wagenknecht ザーラ・ヴァーゲンクネヒト同盟)に流れるのを防ぎたかったのだと考えられます。

選挙結果は日曜日の夕方には明らかになり、投票率は Thüringen州で 73,6%、AfD が得票率 32,8%で最大多数派となり、CDU(キリスト教民主同盟)が 23,6%とそれに続きました。現在州首相 Bodo Ramelow が所属する Die Linke は Erfurt, Weimar, Jena の三都市では最大多数票を獲得しましたが、それ以外の都市では AfD が依然として優勢、結果的には 13,1%と議席を半分に減らすこととなりました。Sachsen州では CDU が 31,9%、AfD が 30,6%となりました。

この結果は非常にショッキングなもので、選挙翌日には駅の Kiosk の朝刊の前で立ち尽くす人の姿が印象的でした。大学からは「Freiheit(自由)、Offenheit(開放性)、Vielfalt(多様性)、Demokratie(民主主義)という価値観を導き続ける」とのメールを受け取りました。どの政党も AfD との協同を拒否しているため、CDU を中心とした連立政権になると予想されます。とはいえこの選挙結果は将来に暗い影を落とすものではないかと考えられます。Thüringen州の地元放送局 Altenburg TV にて、政治学者の Dr. Michael Hein 氏は「政治の傾向として、左寄りの政権から右寄りに代わる変化自体は問題ではない。しかし極右政党の台頭は非常に問題だ」と述べています。また「政治学者として、この選挙結果はこれまでに起こったことのないもの、もしくは長く起こらなかったものであり、今後どうなるか分からないから、わくわくするし興味深い。しかし自分は政治学者としてではなく、一市民として Thüringen州にいるのであって、その意味ではこの結果は全く面白いものではない。自分は迅速に民主主義的な多数派が形成されることを望む」と意見を述べていました。反差別団体で勤務する友人は「(AfD は外国人を排斥する主張を繰り返しているため)自分の職が今後なくなるかもしれない」と不安を訴えていました。今後も社会の様子など引き続きお伝えしていきます。

ドイツ歌声サロン

この会は、ドイツ歌曲・オペラの名曲、ドイツの流行歌やドイツ映画音楽、ビアソングのみならずドイツの家庭や集会で広く歌われ、日本でも親しみ歌い継がれてきたドイツの愛唱歌をも採り上げています。3ヶ月でドイツ語での歌3曲をマスターします。

10月は、Stein Song (乾杯の歌)、Das gibt's nur einmal (ただ一度だけ)、An die Freude (歓喜の歌、ベートーヴェン交響曲第9番第4楽章で歌われる第一主題)を歌います。

講師：岩島 佳子さん

日時：2024年 10月5日(土) 13:30~15:00

場所：神戸リガッタ・アンド・アスレチック倶楽部教室

参加費：2000円

参加条件：神戸日独協会会員以外にも多くの方のご参加をお待ちしています。ドイツ語の歌を主として歌いますが、ドイツ語が初めての方も是非ともご参加ください。

申込：事務局へメール(info@jdg-kobe.org)・電話/ファックス(078-230-8150)にて。

ハントアルバイトの会(ポーセラーツ)

手仕事による製品作りのお好きな方の「会員サークル ハントアルバイトの会」が活動しています。カルチャー教室などでビーズ&ジュエリー刺繍やポーセラーツ等を学ぶ「ぶどうの木」を主宰している堀田真美子さんを講師としてお招きして、初めて参加の方はマグカップや小皿に、継続参加の方は希望の食器に希望の絵柄で製作します。自分のデザインによる食器作りを楽しみましょう。ご参加をお待ちしています。

講師：堀田真美子さん

日時：10月27日(日)14:00~16:00

場所：神戸日独協会教室

会費：初心者1000円、継続者3000円 (材料費+窯焼き代+道具使用料)

参加条件：神戸日独協会会員以外にも多くの方のご参加をお待ちしています。

申込：事務局へメール(info@jdg-kobe.org)・電話/ファックス(078-230-8150)にて。

ドイツ語談話室

第238回ドイツ語談話室

日時：2024年8月17日(土)

場所：神戸日独協会会議室

テーマ：食べ物はどのように変わったか

今回の司会は原田耕作氏が担当し、日本においては、1980年代から出現した温室栽培の拡がり、食生活に良くも悪くも大きな影響を与えていることを話した。日本の多くの野菜や果物に旬

がなくなったのは大いなる悲劇である。それだけでなく、多くの野菜・果物の値段が常軌をなくしている。当然ながら、温室を維持するための莫大な費用が掛かっているのだ。日本の野菜や果物は旬の香りや味わいをなくしてしまって、本当に残念に思う。

以下に、参加者の皆さんの発言を一部紹介する。

—日本人の食生活も変遷して来ていて、参加者が子供の頃は朝食がごはんからパン食に替わってきていた。夕食の時間も遅くなって来て、以前は6時頃だったが、最近は遅くなって8時頃だ。

—冬にはあったかい鱈鍋が好きだが、白身魚は比較的高いので、鶏肉になることが多い。

—輸入される食品が昔に比べどんどん増えて来ている。冷凍技術が良くなって来て多くの魚や肉類が世界各地から輸入されている。

—国内で取れる魚類もとても高くなっている。例えばサンマなど10倍以上になってきている。

—食物アレルギーの子供が増えて来ている。卵・牛乳・小麦・そばなどのアレルギーが多いようだ。

—日本人のたんぱく源は、以前、魚が中心だったが、戦後、肉類の消費が多くなってきた。

—敗戦直後の小学校の給食では、アメリカからもたらされた粉ミルクを溶いたものを飲まされたが、まずくて飲めたものではなかった。今も給食は続いているが、その内容は大変良くなったようだ。

—ウナギのかば焼きは、昔は各家庭でウナギを捌いて作ったが、今は買ってくるだけになった。

—野菜は昔に比べ甘みが強くなっているように思う。

—日本では、調理済み食品が多く売られるようになり、自宅で料理しない人が増えている。

—独り住まいの人が多くなり、調理済み食品が買われるようだが、自分は食材をすべて自身で選んで買い、自身で調理するのが楽しみ。

—戦後、ジャンクフードがどんどん増えてきた。また飲み物の自動販売機が増え、怪しげなドリンクが出回っていて、とても不健康な状態が広まっている。

—驚くのは、スイカをスライスしたり、中身だけ小切りにパックして売っているが、信じられない事だ！ スイカは丸いものを売るものだ。

—電子レンジが良く使われているようだが、レンジから出るマイクロ波は健康によくない。伝統的なガスオーブンが調理には一番良い。

—味噌、納豆、など発酵食品は健康によく、好んで調理に使う。

—発芽玄米をよく使っているが、健康にはとても良い。

今後のドイツ語談話室の予定

第240回 2024年10月19(日) 14-16時 テーマ : 近所付き合い

Protokoll der 238. Deutschen Gesprächsrunde

Zeit: Samstag, 17. August 2024, 14 bis 16 Uhr.

Thema: Wie hat sich unsere Ernährung verändert

Dieses Mal hatte Herr Kosaku Harada die Gesprächsleitung und erzählte, dass der Gewächshausanbau, der sich in den 1980er Jahren in Japan verbreitete, große Auswirkungen auf die Ernährung hatte, im Guten wie im Schlechten. Es ist keineswegs

positiv, ja extrem schade, dass viele Gemüse- und Obstsorten nun nicht mehr saisongebunden sind. Gemüse und Obst haben das ihrer ursprünglichen Reifezeit entsprechende Aroma verloren. Außerdem sind die Preise vieler Sorten in die Höhe geschossen, da es sehr kostspielig ist, den Gewächshausanbau aufrechtzuerhalten.

Hier einige der Wortmeldungen zum Thema:

-Die Essgewohnheiten haben sich sehr geändert. Beim Frühstück haben viele Leute von Reis auf Brot umgestellt. So auch bei einer Teilnehmerin, als diese noch ein Kind war. Und die Zeit des Abendessens hat sich geändert. Früher aß man so um 18 Uhr, heutzutage ist etwa 20 Uhr üblich.

-Im Winter schätzt eine Teilnehmerin ein japanisches Gericht mit Kabeljau. Weißer Fisch ist jetzt aber relativ teuer, daher wählt sie oft Hühnchen statt Fisch.

-Die Menge importierter Lebensmittel nimmt immer mehr zu. Infolge verbesserter Kühltechnologie, werden nun Fisch- und Fleischprodukte aus der ganzen Welt importiert.

-Fisch aus japanischen Meeren ist sehr teuer geworden. Beispielsweise ist der Preis für den Makrelenhecht um mehr als das Zehnfache gestiegen.

-Die Zahl der Kinder mit Nahrungsmittelallergien nimmt zu. Es scheint, dass es vermehrt Allergien gegen Eier, Milch, Weizen, Buchweizen usw. gibt.

-Früher waren Fische die hauptsächliche Proteinquelle in Japan. Nach dem zweiten Weltkrieg hat der Fleischkonsum zugenommen.

-Ein Teilnehmer erinnert sich, dass er nach der Kriegsniederlage zum Schulessen in der Grundschule Milchpulver aus den USA bekam. Die Milch aber schmeckte sehr schlecht. Auch heute noch werden in vielen Schulen Schulspeisungen angeboten, der Inhalt hat sich offensichtlich aber deutlich verbessert.

-Früher wurde Aal-Kabayaki zu Hause zubereitet. Heute ist es üblich die Aale bereits gekocht und mariniert im Supermarkt zu kaufen.

-Einer Teilnehmerin scheint, dass das Gemüse heute viel süßer ist als früher.

-In Japan werden immer mehr Fertiggerichte verkauft. Immer weniger Menschen kochen zu Hause.

-Es scheint, dass in Japan immer mehr Menschen alleine leben und schon daher eher fertige Speisen kaufen. Es ist aber auch eine Freude, die Zutaten selbst zu wählen und selbst zu Hause zu kochen.

-Seit dem Zweiten Weltkrieg erfreut sich Junkfood immer größerer Beliebtheit in Japan. Darüber hinaus ist die Zahl der Getränkeautomaten gestiegen. Es werden fragwürdige Getränke verkauft, ernährungsbedingte Gesundheitsschäden sind weit verbreitet.

-Wassermelonen werden in Scheiben geschnitten in kleinen Portionen verkauft. Ein Teilnehmer findet das unerhört: Eine Wassermelone ist ein rundes Ding!

-Mikrowellenöfen sind nun weit verbreitet, aber es gibt Befürchtungen, dass sie nicht so

gut für die Gesundheit wären. Herkömmliche Gasöfen eignen sich noch immer am besten zum Kochen.

-Fermentierte Lebensmittel wie Miso und Natto sind gut für die Gesundheit und werden auch heute noch häufig beim Kochen verwendet.

-Eine Teilnehmerin schwört auf gekeimten Naturreis, da dieser sehr gesund ist.

Nächste Treffen:

Samstag, 19. Oktober 2024, 14 bis 16 Uhr

Thema: Nachbarschaft

10月の企画委員会開催のお知らせ

この会は協会と会員との交流のための会です。協会の事業について種々の企画のご提案をいただき、協会の活動は活発化しています。是非とも参加し、協会の運営や企画などにご意見を下さい。

日 時: 2024年10月12日(土)15:00~17:00

場 所: 神戸日独協会事務室兼会議室

話 題: 10月以降の事業企画(クリスマス祝賀会、ワインイベント等)について。

ご出席いただける方は、事務室へ電話・メールにてご連絡ください。当日参加も可。

事務室からのお知らせ

年会費納入のお願い

新年度も半年が過ぎようとしています。例年年度初めに納入をお願いしています年会費のご納入が今年度は芳しくありません。現時点で半数近くの納入がありません。協会の運営は会費、講座・教室授業料、行事事業収入を主たる財源として行われています。事務所移転など財政上の改善に努めていますが、決して財政安定状態とは言えません。協会の財政事情をご理解の上、是非とも早期のご納入をお願いいたします。

なお、本年度でご退会をご希望の方は本年度会費をご納入の上、退会届をご提出ください。

今後とも協会事業にご参加、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。(会長 柘田義一)

●納入方法 : 以下のいずれかの口座へご送金、もしくは現金をご持参ください。

銀行振込	三井住友銀行 神戸営業部 普通 8004770
	口座名義 : 特定非営利活動法人神戸日独協会
郵便振替	01160-9-18199
	加入者名 : 特定非営利活動法人神戸日独協会

会報印刷・発送ボランティア募集

次回の印刷と発送は10月25日(金)を予定しています。ご協力をお願いします。

印刷: kinko's 三宮店(神戸市中央区雲井通 4-2-2 マークラー神戸ビル 1F) 10:30~

発送: 神戸日独協会事務室にて、12:00~

お手伝いいただける方は事前に事務室へご連絡下さい(TEL 078-230-8150)。

行事等の写真について

会報では輪転機印刷のため写真等の掲載は略させていただきます。協会ホームページ及びSNSに掲載していますので、ぜひご覧ください。

 ホームページ Homepage	 インスタグラム Instagram	 X Twitter
---	---	---

これからの神戸日独協会の催し

日時	催し	会場	申込〆切 など
10月5日(土) 13:30~15:00	ドイツ歌声サロン	神戸リガッタ・アンド・アス レティック倶楽部教室	当日参加可
10月12日(土) 15:00~17:00	企画委員会	神戸日独協会会議室	当日参加可
10月19日(土) 14:00~16:00	ドイツ語談話室	神戸日独協会会議室	当日参加可
10月27日(日) 14:00~16:00	ハントアルバイトの会 (ポーセラーツ)	神戸日独協会会議室	当日参加可